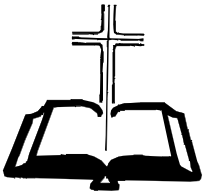


「神のことばは永遠に立つ」

ペテロの手紙第一 1章 22～25節(宣教要旨)

説教者 A.Na



現在もおウイルスや豪雨の災害で国中、世界中が恐怖と不安、困難の中にあります。この世の様々なことが、日々目まぐるしく変化していく…そのような中でも、唯一、永遠に変わらないものは…?

《あなたがたは、きよい心で互いに熱く愛し合いなさい》

22節で、はっきりと「あなたがたは、互いに愛し合いなさい」と命じ、教えています。それは単なる道徳的な愛の教えなどではなく、私たち信仰者にとってとても大切なメッセージです(ヨハネ 15:12, 17)。

私たちの持つ愛は自己中心的であったり、見返りを求めたり、感謝のことばや良い評判を受けることを期待してしまったり…人間の内からは、本当の愛は出てきません。

「真理」とは、福音のことであり、「真理に従う」とは、福音に従う、福音の真理に従うことです。福音の真理に従うことによって、私たちへの「互いに愛し合いなさい」という勧めがなされるのです。

福音の真理に従うとき、神によって私たちのたましいは清められ、新しく変えられていきます。そして、偽りのない兄弟愛(レビ 19:17, 18, マタイ 19:19)を抱くようにされます。そして私たちは、きよい心で互いに熱く愛し合うことが求められています。

《あなたがたが新しく生まれたのは、神のことばによる》

「種」とは、みことば、福音のことです。もろく変わっていく、滅びていく、そのような朽ちる種ではなく、生きた、いつまでも残る完全な永遠の種、それが神のことばです。

神は、不変のお方、変わらないお方です(マラキ 3:6, 創世記 17:7)。

また、神は永遠なるお方です(イザヤ 40:28)。この神のことばによって、全世界すべてのもの、また私たち人間は造られました。父なる神の創造のみわざはすべてに及んでいます(ヤコブ 1:18)。

《神のことばは永遠に立つ》

24節 25節では、イザヤ書 40章 6節から 8節のみことばが引用されています。

イザヤの預言がなされた当時のイスラエルにとって、バビロニアは栄華を極めた、富も力もすべて圧倒的な強さ、大きさでしたが、その後永遠に続くように見えたバビロニアの繁栄は、ペルシア王国によって滅ぼされます。

同じように、ペテロがこのみことばを引用したときに大きな繁栄を見せていた古代ローマ帝国も、力、富、権力、美や名声など、人間の「栄え」と言えるものを持っていましたが、その後滅びていきます。時代を超え文化を超え、必ず神のことばは実現していきます。

人間は神に造られたものです。神のことばによって大地のちりから造られました。その人間の栄え、栄光は、草の花のよう。それらはすべて、朽ちるもの、滅び変わっていくのです。

しかし、朽ちない種である神のことばは永遠に変わりません。朽ちない種、その福音が語られ続け、時代を超えて今もなお、主に従う信仰者たち、その集りである教会を生み出し続けています。

人間の栄えとははっきりと違う、永遠なる神のことばが私たち信仰者、教会を育み、神のことばは今も全世界で語られ続けています。

《私たちの歩み…》

神のことばにより、大地のちりから造られた私たちは、自分の力では自らを罪から救い出すことも、きよい心で兄弟を偽りなく愛し合うこともできませんでした。

しかし、神がそれをなさせてくださいます。永遠に朽ちない神のことばに信頼して、それぞれが語り続ける歩みを今週も歩んでいきましょう。